

教職課程情報の公表

教育職員免許法施行規則第 22 条の 6 関係

令和 7 年度

青森中央短期大学

1. 教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画に関すること

青森中央短期大学教員養成の目標

【食物栄養学科】

[取得可能免許：栄養教諭二種免許]

食物栄養学科は、我が国の法令を遵守すると共に、本学の建学の精神である「愛あれ、知恵あれ、真（まこと）あれ」に基づき、豊かな人間性、倫理性、社会性、教職専門性を具備する心身ともに健全な教員を養成する。

【幼児保育学科】

[取得可能免許：幼稚園教諭二種免許]

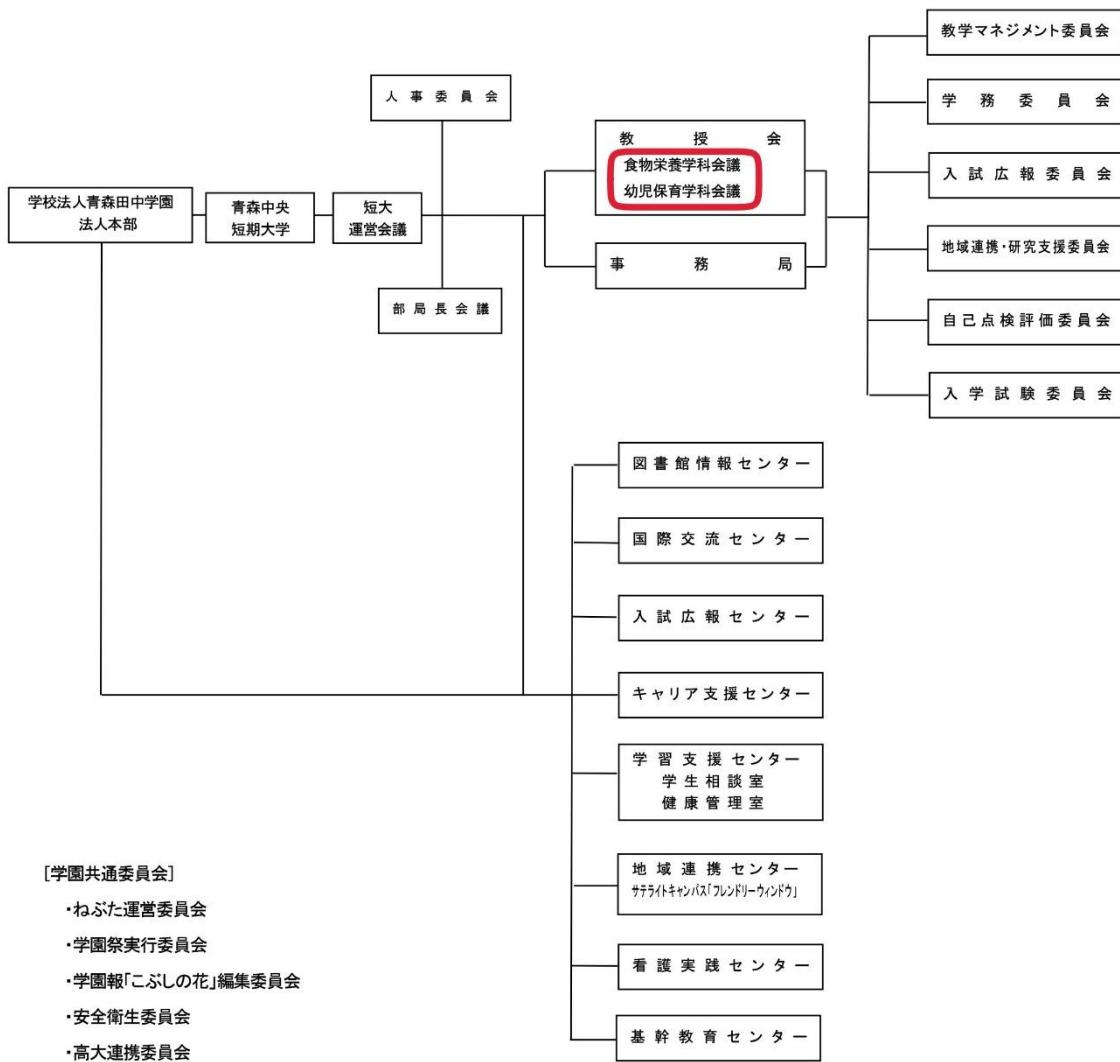
幼児保育学科は、我が国の法令を遵守すると共に、本学の建学の精神「愛あれ、知恵あれ、真実あれ」に基づき、幼稚園教員に相応しい知識・技術・品格を備え、優しさや思いやりを持ち、他者と支え合う社会の形成に貢献できる教員を養成する。さらに、一人ひとりが得意分野を持った幼稚園教諭育成をめざす。

2. 教員の養成に係る組織及び教員の数、各教員が有する学位および業績 並びに各教員が担当する授業科目に関すること

青森中央短期大学では、教員養成に係る組織として「学科会議」がある。学科会議にて「年間の計画・進捗状況の確認・見直し・改善」を行っている。さらに、食物栄養学科では免許・資格ごとに教員の役割を分担し、組織の明確化を図っている。

・青森中央短期大学組織図

令和7年5月1日現在



・教員養成に係る教員の数

教員の養成に係る教員の数(令和7年度)

【食物栄養学科】

| 免許状の種類 | | 担当教員 | 専任教員数 ()は教員免許法施行規則における必要専任教員数 |
|-----------|----------------------|------------|-----------------------------------|
| 栄養に関する科目に | 栄養教諭二種 | 木村 亜希子 準教授 | 指定なし |
| 教職に関する科目 | 田村 義文 教授 佐藤 紘昭 講師 | | 2 (2) |

【幼児保育学科】

| 免許状の種類 | | 担当教員 | 専任教員数 ()は教員免許法施行規則における必要専任教員数 | |
|----------|---------|-----------|-----------------------------------|--|
| 関する科に目 | 幼稚園教諭二種 | 前田 美樹 教授 | 3 (3) | |
| | | 木戸 永二 準教授 | | |
| | | 畠山 朗詠 助教 | | |
| 教職に関する科目 | | 鈴木 寛康 教授 | 4 (3) | |
| | | 兼平 友子 準教授 | | |
| | | 天間 美由紀 講師 | | |
| | | 前田 一明 講師 | | |

※各教員の学位及び業績並びに担当授業科目については

青森中央短期大学ホームページ (https://www.chutan.ac.jp/faculty_packaging/) 内、
<教員紹介>を参照してください。

3. 教員の養成に係る授業科目、授業科目ごとの授業の方法及び内容並びに年間の授業計画に関すること

・教職に関する科目の履修の流れ（令和7年度入学生）

【食物栄養学科】

| 資格 | 系列等 | 1年次 | | 2年次 | | 備考 |
|------------------------|----------|---------------------------|---------------------------------|-----------------------------|--|--------------|
| | | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | |
| 栄養教諭二種 | 総合教育科目 | 英語Ⅰ 情報処理演習Ⅰ | 英語Ⅱ 情報処理演習Ⅱ 人間とスポーツ 法学 | | (英語Ⅱ) (情報処理演習Ⅱ) (人間とスポーツ) (法学) | 卒業後 免許状取得 |
| | 専門科目 | 栄養士課程の所定の単位数を修得することを前提とする | | | | |
| | 資格に関する科目 | 教師論 教育総論 | 学校栄養教育論 教育方法論 特別支援教育論 | 道徳教育の理解 特別活動の理解 教育課程論 | 生徒指導と教育相談 教職実践演習 (栄養教諭) 青年心理学 総合的な学習の時間の理解 | |
| 栄養教育実習 事前指導→実習→事後指導 | | | | | | |

【幼稚園保育学科】

| 資格 | 系列等 | 1年次 | | 2年次 | | 備考 |
|-----------|---|--|--|------------|-------|--------------|
| | | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | |
| 幼稚園教諭二種免許 | 教育総合科目 クモンベーシック ・教養科目 | 英語Ⅰ 情報処理演習Ⅰ 体育実技 | 英語Ⅱ 情報処理演習Ⅱ 法学 | 体育講義 | (法学) | 卒業後 免許状取得 |
| | 領域及び保育内容の指導法に関する科目 領域に関する専門的 事項 | 保育と青森(健康) 保育と青森(人間関係) 保育と青森(環境) 保育と青森(表現) | | | | |
| | 保育内容の指導法 | | 保育実践と青森(健康) 保育と実践と青森(人間関係) 保育実践と青森(環境) 保育実践と青森(言葉) 保育実践と青森(表現) | | | |
| | 科目的基礎的理解の基 | 教育総論 教師論 | 発達心理学 | 特別支援保育Ⅰ | | |
| | 導入教育相談等に関する科目 導入法及び生徒指導等の時間 の総合的な学習 | | | 幼児の理解と教育相談 | 教育方法論 | |
| | 科目に関する教育実践 | 教育実習事前・事後指導 | | | | |
| | | | 教育実習Ⅰ | | 教育実習Ⅱ | |

4. 卒業者の教員免許状の取得の状況に関すること

令和6年度 教員免許取得者数一覧(校種別)

| 学科・専攻等名 | 卒業者数 | 免許状取得者実数 | 小学校免許状 | | 中学校免許状 | | 特別支援学校免許状 | | 幼稚園免許状 | | 養護教諭免許状 | | 栄養教諭免許状 | | 合計(延べ数) | |
|---------|------|----------|--------|----|--------|----|-----------|----|--------|----|---------|----|---------|----|---------|----|
| | | | 一種 | 二種 | 一種 | 二種 | 一種 | 二種 | 一種 | 二種 | 一種 | 二種 | 一種 | 二種 | 一種 | 二種 |
| 食物栄養学科 | 43 | 5 | | | | | | | | | | | | | 5 | 5 |
| 幼児保育学科 | 37 | 36 | | | | | | | | 36 | | | | | | 36 |
| 合計 | | | | | | | | | | 36 | | | | 5 | | 41 |

※免許状取得者数については、科目等履修生などは除外している。

5. 卒業者の教員への就職の状況に関すること

令和6年度 教員就職状況一覧

| 学科・専攻等名 | 採用の区分 | 認定子ども園 | | | 幼稚園 | | | 小学校 | | | 中学校 | | | 特別支援学校 | | | 養護教諭 | | | 栄養教諭 | | | 合計 | | | | | |
|---------|-------|--------|---|----|-----|---|---|-----|---|---|-----|---|---|--------|---|---|------|---|---|------|---|---|----|--|--|----|--|--|
| | | 国 | 公 | 私 | 国 | 公 | 私 | 国 | 公 | 私 | 国 | 公 | 私 | 国 | 公 | 私 | 国 | 公 | 私 | 国 | 公 | 私 | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 食物栄養学科 | 正 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 他 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 幼児保育学科 | 正 | | | 11 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 11 | | |
| | 他 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 正 | | | 11 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 11 | | |
| | 他 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

6. 教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組に関すること

1) シラバスの充実

「到達目標」にはより明確な学生像、「授業計画」には回数ごとの予習・復習記載並びに時間、「成績評価の方法及び評価基準」には具体的な記載を、シラバス作成マニュアルに基づき徹底することで、学生の学習意欲向上に努めている。

2) カリキュラム・マップの作成

カリキュラムと科目が「ディプロマ・ポリシー【学修成果】」に対応しているか、マップを使用し学科全体で確認している。カリキュラム・マップはホームページで公開している。

3) カリキュラム・ツリーの作成

学生に身につけさせる知識・能力と授業科目との対応関係を示し、体系的な履修を促す体系図（カリキュラム・ツリー）を作成している。

4) GPA の活用

本学は GPA 制度を導入し、教員は年度ごとに算出した GPA を学科内で確認し学生の学修意欲を把握している。GPA の分布は年度ごとに作成し、学科全体が適正に成績評価を実施できているのか確認している。

また、GPA を活用して、達成度や学びの質を可視化した資料を学期ごとに配布し、振り返りを行っている。

5) 授業評価アンケートの実施

授業評価アンケートを科目ごとに実施しており、学生の評価や、意見・要望を知るとともに、科目ごとの成績評価とアンケート結果を教員一人ひとりにフィードバックすることで、学習内容の充実および学習環境の向上・改善に努めている。

6) FD・SD 活動の充実

FD・SD 活動は大学全体で活発に実施されており、教職協働で学修成果向上・充実に寄与している。

7) 簡易版ティーチングポートフォリオの作成

本学では、教員が教育者として教育活動をふり返り教育の質を向上させることと、教員間での教育資源を共有し組織的に教育の質を向上させることを目的に、専任教員の全員が簡易版ティーチングポートフォリオ（自らの教育活動について振り返り、自らの言葉で記し、多様なエビデンスによって記述を裏づけた教育業績についての厳選された記録）を作成している。